



FIDIC Newsletter December 2013 抄訳

訳責:国際活動委員会 CB 分科会

この抄訳は若手メンバーの翻訳を分科会で監修したものです。

1 Global Representation 国際活動

1-1 New FIDIC Century Welcomed in Barcelona

FIDIC の新しい時代の到来 ~バルセロナ~

華やかな祝賀会の締め括りとして特別な花火が打ち上げられるなか、97ヶ国 1,200 人の参加者が FIDIC100 周年イベントを祝った。また、当大会では、業界の数多くの貢献が賞賛され、そして祝福された。(FIDIC Centenary Awards で大賞を受賞した)世界中の 45 もの社会資本整備プロジェクトは、業界の発展にとって、貴重な貢献に値するものと認められ、さらに、久保田豊やオヴ・アラップ卿のようなすばらしい技術者によって、業界が重要な貢献をしていることも認められた。

【AJCE 事務局】FIDIC Centenary Awards では、AJCE から プロジェクト 2 件(国立代々木競技場、東海道新幹線)とコンサルタント個人(久保田豊氏)を応募し、何れも大賞を受賞しました。授賞式の様子は AJCE ホームページに公開しています。 http://www.ajce.or.jp/fidic/CentAward/fidic_Cent.htm



インフラとコンサルタント業界の国際化の需要の増加は、特に上下水道や、エネルギー、輸送、都市化といった国際的なチャレンジのカギとなるコラボレーションへとつながってくる。持続性に関する論点は、将来の投資戦略の運用と見られている。これまでも、業界によりたくさんの新しいツールが開発されてきた。

それゆえ、2014 年 9 月 28 日から 10 月 1 日までリオデジャネイロで開催される FIDIC 大会においても、このようなテーマが想定される。詳細は、FIDIC2014 のウェブサイト公開される。 <http://www.fidic2014.org/>

1-2 World Bank Reforms Point to Significant Shift in Procurement

世界銀行の改革のポイント(調達面で大きな変化)

世界銀行から提案された調達戦略の改革においては、「開発の有効性」が新たな駆動力となる。これは、世界銀行 60 年の歴史の中で最も重要な変更となる。借入国における公正性と持続性を兼ね備えた公共調達を強化することに新たな焦点を当て、より一層戦略的な調達手法の実現が想定される。

上記に関して、我々 FIDIC は、(比較的小規模ながらも) 諮問グループの一員として、新たな戦略の開発を推進する世界銀行を支援している。上記のプロセスの一環として、FIDIC は戦略に有用なツール(独自のベストプラクティスガイド)を提供してきた。これは、現在、標準入札書類で使用される国際的に認められた FIDIC 契約約款に加えて、下記の関連ツールをいう。

・FIDIC 調達ガイド



- ・公正管理(FIMS)ガイド
- ・持続性管理(PSM)ガイド、

2012 年～2013 年にかけて実施された広範な協議に加え、独立評価グループでは、近代化とより大きな技術革新の必要性、銀行業務の柔軟性(の強化)、インフラ投資に対する資金調達や監視を希望している借入国のためのさらなる支援(の重要性)等を指摘したところである。我々 FIDIC は、これらの支援だけでなく、(上述のような)独自のガイドラインやベストプラクティスツールを提供してきた。

1-3 Asia Conference, Indonesia, 2-5 March 2014

アジア会議 インドネシア (ASPAC バリ大会) 2014 年 3 月 2～5 日

ビジネスの持続可能性をテーマとして、この重要な地域イベントでは、アジア太平洋地域における協力が焦点が当てられる。アジア太平洋地域においては、重要なインフラを整備していくにあたって、広範囲な提携がますます重要になっている。

この地域は中央アジアからオーストラリア、日本にまでわたり、様々な課題を抱えるが、市場の多様なニーズを満たすために能力を強化している。

さらに詳しい情報は会議のウェブサイトより入手できる。<http://fidicaspectcdpapali2014.com/>

【AJCE 事務局】AJCE からは内村好 ASPAC 理事と AJCE 会員計 6 名が参加し、プレゼンテーションを行う予定です。本会議の内容は会報及びホームページで報告いたします。

1-4 Africa Conference, Mozambique, 23-26 March 2014

アフリカ会議 モザンビーク (GAMA 会議) 2014 年 3 月 23～26 日

アフリカにおける目覚ましい成長の機会を反映して、大陸各地から計画及び主要インフラに携わる団体が FIDIC の地域行事に参加した。

この会議では、地域と世界の専門的知識の協力を通じた、顧客及びコミュニティへの新たな価値と解決策を創造する事に特に着目している。近年、アフリカの経済状況の改善と、それに関連した経済成長を支援する主要インフラ需要により、投資財源は大幅に増加している。

詳細な情報は GAMA2014 のウェブサイトに掲載中である。 <http://www.gama2014.com>

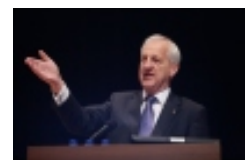


1-5 News from the Executive

理事からのお知らせ

2013 年 9 月のバルセロナ大会において、FIDIC 理事会は以下の合意に達した。

1. FIDIC が提供する製品及びサービスにより多くの価値を与えるために、FIDIC 活動における能力開発コンポーネントを強化する。それに加えて、国際的なベストプラクティスがより円滑に地域レベルに伝達されるために、協会連合に対するより強力な支援を実施する。
2. 新たな 2014-16 年事業計画の策定に着手する。これは成長のための意欲的なプログラムであり、かつ会員サービスへの価値の創造と、国際的なパートナーとの連携を強化する事が盛り込まれる。
3. 現在のアフリカと中東に加えて、アジアと南アメリカの参画を交渉中である FIDIC 地域戦略の展開に対する支援を行う。



1-6 Colombia hosts Strategic Meeting for Latin America

コロンビア主催 ラテン・アメリカ戦略会議

FIDIC 会長である Pablo Bueno 及び FIDIC 事務局業務部長の Italo Goyzueta が、中南米アメリカコンサルティング・エンジニア連合 (FEPAC) の理事会及び総会に参加した。これにはブラジル、コロンビア、チリ、メキシコ、ペルー、パラグアイ、スペイン及びポルトガルの FIDIC 会員が参加し、ラテン・アメリカの産業発展に影響する問題について議論を交わした。主要な論点は官民連携 (PPP)、リスク管理及び国の規制の問題についてである。



新たな FIDIC 会員であるパラグアイコンサルティング協会 (CPC) は、パラグアイ政府のインフラ開発計画に一役買おうとする巨大な国際企業との競争を勝ち抜く同国のコンサルティング・エンジニア企業の協会として存続していくという課題を挙げた。これらの課題はブラジルで開催される 2014 年 FIDIC リオ大会において、より詳細に議論されるであろう。

当地域における FIDIC 会員は、訓練機会の提供、産業をけん引する会員企業及び団体の能力開発という FIDIC の重要な役割を理解し、賞賛している。これにより、FIDIC はオンラインコースを提供し、FIDIC ウェブサイトにおける FIDIC リソースプラットフォーム・オンラインの提供に尽力することになった。FIDIC は近い将来、97 の会員協会に情報や手続き、ベストプラクティス等が紹介された重要な資料や教材を提供するオンライン・プラットフォームを立ち上げる予定である。

FEPAC の行事に参加した FIDIC 代表及び会員協会は、11 月 20～23 日にカルタヘナで開催された第 10 回 CCI インフラ大会にも参加した。約 3,000 のインフラ産業に従事する専門家が参加したこの大会の情報は、以下のウェブサイトに掲載中である。 <http://www.infraestructura.org.co/10congreso/>

1-7 EFCA/FIDIC Collaboration Enhanced

EFCA/FIDIC の協調強化

新しく締結した協定にもとづいて、FIDIC とヨーロッパコンサルティングエンジニア協会連合 (EFCA) は調達の問題に注力しようとしている。これは、この課題が、FIDIC 契約約款の導入が奨励または支持されているヨーロッパ (特に中央ヨーロッパなど) において、コンサルティング業界に大きな影響を及ぼすものだからである。



コンサルティング業界にとっての大きな問題は、FIDIC 契約約款の変更である。その結果、契約がバランスに欠けるものとなり、締結が困難になってしまうからである。ヨーロッパの建設業界との協力により、FIDIC 契約約款の基本原則からの大きな隔たりについての情報を収集するほか、バランスのとれた契約を締結することのメリット、あるいはリスクや責任を移行してしまうことによる不利益、もしくは、FIDIC が意図しているような前向きなやり方に賛同する協会組織の力をそぐことによる不利益についても情報収集を行う予定である。

1-8 FIDIC and UNEP agree key Collaboration

FIDIC と UNEP、協力体制に合意

FIDIC と国際環境計画 (UNEP) の長期間にわたる結びつきをさらに深めるものとして、覚書がバルセロナにおいて締結された。この覚書は、上記 2 機関による「持続可能な都市ブ



プログラム」に関する合同トレーニングと出版活動にむけての取組をスタートさせるためのもので、具体的な内容として以下が盛り込まれている。

- ・ Sustainable Building and Climate Initiative (SBCI) にもとづき、このイニシアティブのための戦略とツールの開発を支援する
- ・ UNEP の各プロジェクト、プログラムにおいて持続可能な建築物と建設工事に関するワークショップを開く
- ・ 持続的開発に関する政策方針の実施を支援するための出版物を刊行する
- ・ Global Initiative for Resource Efficient Cities (GI-REC) を強化する

この新しい連携はすでに始まっており、新しいトレーニングプログラムの開発に着手している。

2 Best Practice, Contracts and Publications ベストプラクティス、契約と刊行物

2-1 Quality of Life Guides

クオリティオブライフガイド

FIDIC は、インフラ開発の際に持続可能な実務を遂行するためクライアントとコンサルタントを支援する新たな解説書集を刊行した。この刊行は、9月にバルセロナで行われた FIDIC 100 周年記念大会のテーマである「Quality of Life – Our Responsibility」を基に行われた。

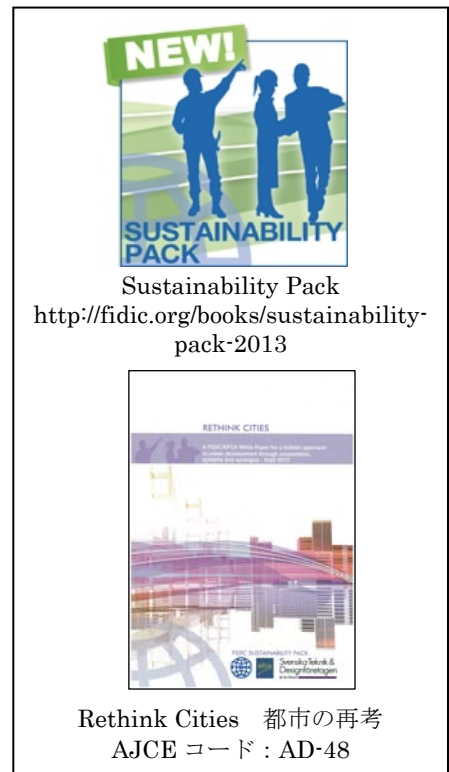
Sustainability Pack に含まれる、社会的課題に関する白書『Rethink Cities 都市の再考』は、FIDIC スウェーデン協会 (STD) が主体となり、ヨーロッパコンサルティングエンジニア協会連合 (EFCA) 及び FIDIC 持続可能な開発に関する委員会 (Sustainable Development Committee SDIC) との共同で作成された。

この白書では、持続可能性に関する需要の増加は都市部において非常に頻繁におこることを述べている。そして、エンジニアリングコンサルタント会社から提示された多くの実例を例示し、いろいろな都市機能間の関連性を考慮することから獲得される便益を示すと同時に、都市へのシステムティックなアプローチがあることを述べている。

PSL Toolbox 2013 が、FIDIC フランス協会 (Syntec-Ingénierie) が主体となり、ヨーロッパコンサルティングエンジニア協会連合 (EFCA) 及び FIDIC 持続可能な開発に関する委員会 (SDIC) との共同で作成された。

これは、構築環境プロジェクトおよびプログラムにおける持続可能な要求を履行支援するための4つの関連したツールからなる。主な目的は利害関係者間の協調促進である。

これらの4つのツールは、PSL 2013 オンライン版 (<http://www.pssl.org/fr-fr/>) に組み込まれている。次回の更新は 2014 年中中期に予定されている。



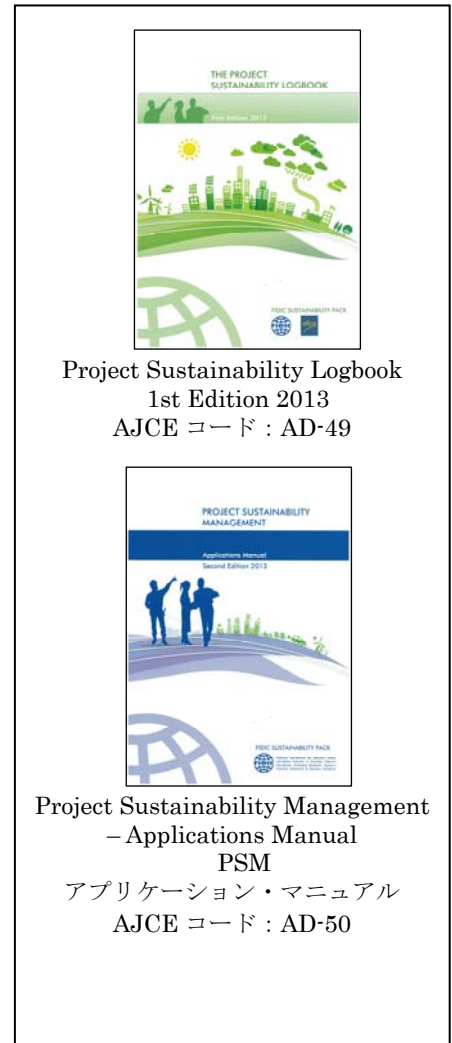
『Project Sustainability Logbook 1st Edition 2013』

Project Sustainability Logbook (PSL) の背後にある目的は、建築資産もしくは指定建築物群、インフラ施設や都市環境要素を持つ施設(例: 都市区域、街区)を、特定の都市機能(例: 公共交通機関や給水)と調和させるようにもっていくこと、もしくは設計させることである。一連の表からなるこのログブック(台帳)は、特定のプロジェクトやプログラムにおける持続可能な開発の問題点や目的を定義、モニタリングする手法を提供する。

『Project Sustainability Management - Applications Manual PSM アプリケーション・マニュアル』

この Project Sustainability Management 第 2 版 (PSM II) は、まず第一に、持続可能な手法で業務を実施する際に技術者が考慮すべき中核的問題点をリストにしてあるということである。この持続可能な手法は、利害関係者からの意見を広く包含するために多くの過程を経て改善されたものである。このリストの各項目は、一連の考え方を伴って提示されている。この考え方とは、プロジェクトにおいて考慮すべきこれらの問題点に影響を与える持続可能な検討方法である。異なった問題間の考え方の論理的関連性だけでなく、これらの考え方についての記述や予想されるプロジェクト対応の目安により構成されていることが、このマニュアルの優れている点である。

【AJCE 事務局】これらの書籍は AJCE でも販売しております。詳細は AJCE 事務局 (03-3839-8471) へお問合せください。



Project Sustainability Logbook
1st Edition 2013
AJCE コード : AD-49

Project Sustainability Management
- Applications Manual
PSM
アプリケーション・マニュアル
AJCE コード : AD-50

2-2 Promotion of the Sustainability Pack

Sustainability Pack の推進 パリ 2013 年 4 月 12 日

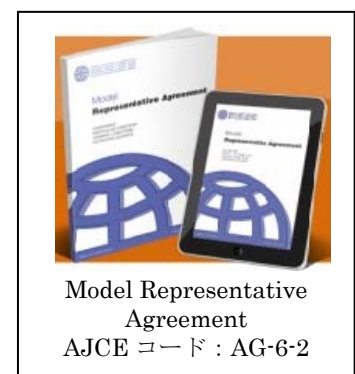
国際環境総合展 POLUTTEC (2013 年 12 月 4 日) において、Syntec-Ingénierie 社と FIDIC の Stellan Fryxell 氏がコンサルタント業界を代表して行った討論会のビデオ録画が YouTube にて閲覧可能である。

<http://www.youtube.com/watch?v=cTeIj5meGJY&feature=youtu.be>

2-3 FIDIC Model Representative Agreement launched

代理契約書 (Purple Book) 発売

FIDIC100 周年記念大会 (バルセロナ) においても公開されており、(このモデルは) 国際事業におけるコンサルタント業務に不可欠な最新のツールである。海外での運用において、不正な活動に直面するリスクがしばしばおこった。英国や米国のような市場にて取り入れられた新しい法規や国際金融機関 (International Funding Institution IFIs) 他からのより強い制裁処置に応じて、このツールはリスクを軽減すること、また新しい顧客からや社会的な要請に沿ったコンプライア



Model Representative Agreement
AJCE コード : AG-6-2

ンスに向け進んでいくことに対する FIDIC の答えの一つである。

多くのコンサルタント会社がすでに FIDIC の公正管理システムを採用しており、新たなイニシアチブを歓迎している。

【AJCE 事務局】本書は AJCE でも販売しております。詳細は AJCE 事務局 (03-3839-8471) へお問合せください。

3 Training & Capacity Building 訓練と能力開発

3-1 London Users' Conference Celebrates

ロンドンユーザー会議

第 26 回ユーザー会議がロンドンで開催され、世界中から 160 名が集い、成功裏に終了した。FIDIC 契約約款の "Rainbow Suite" に関する最新情報が FIDIC (契約約款) 更新委員会により提示された。新たな契約約款および契約約款更新の業務に従事する FIDIC 委員会やタスクフォースのシニア会員が、彼らの世界的な業務経験の中で実際に遭遇した例を交え、契約管理に関する重要事項、潜在的なリスクや紛争の回避について述べた。再生可能エネルギー産業部門に関する特別講演においては、FIDIC 契約約款の重要な役割が示された。



3-2 FIDIC America's Users Conference, Washington DC

FIDIC 米州ユーザー会議 ワシントンDC

第 2 回北アメリカユーザー会議が 2013 年 10 月 22 日～23 日にワシントンで開催された。本会議には、75 名以上の出席者および各地域のスポンサーより多大な支援を受けた講演者が集まった。とりわけ、カリブや中南米からの参加者の増加が目立った。



3-3 South Sudan welcomes first ever FIDIC Business Days in Juba – Collaboration with WFP, UNOPS and USAID

南スーダンがジュバで初の FIDIC とのビジネス会議開催を歓迎 – WFP、UNOPS、USAID との連携

新たに形成された南スーダンのインフラ需要は、国際援助機関によってサポートされており、FIDIC の契約形式は、新しいプロジェクト開発において重要な役割を果たす。FIDIC は、世界食糧計画(WFP)、国連プロジェクト・サービス機関(UNOPS) の 2 つの国連機関と、米国国際開発庁 (USAID) 関連で、ジュバで初の活動を予定している。参加者は 2014 年 1 月 20 日のディスカッションもしくは 21 日、22 日の 2 日間にわたる公認トレーニングイベントへの参加が案内されている。



登録と情報はこちら

<http://fidic.org/events/fidic-business-day-and-training-jubasouth-sudan-20-21-22-january-2014>

3-4 FIDIC in Middle East: Opening of training centre in Amman, Jordan

中東の FIDIC: ヨルダン・アンマンのトレーニングセンターの開設

FIDIC の地域開発戦略に沿って、FIDIC の地域研修センターの開設が、ヨルダンコンサルティングエンジニア

協会のエンジニアリングトレーニングセンター(ETC)で 2013 年 9 月に承認された。センターでは、中東での FIDIC の影響力の拡大を促すために、アラビア語と英語の両方でトレーニングが受けられるよう準備を行う。

<http://fidic.org/node/3457>



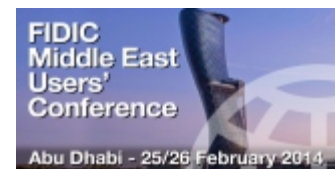
3-5 FIDIC Middle East Users Conference – Abu Dhabi 25 & 26 February 2014

FIDIC 中東ユーザー会議 アブダビ 2014 年 2 月 25-26 日

第 6 回 FIDIC 中東ユーザー会議がアブダビにて開催される。中東における課題は何か、FIDIC 契約約款の起草者達は国際的もしくは国内のプロジェクトにおける経験談を話してくれることになっている。たとえば、紛争回避・解決制度および当該国の法制度について—どうやって対比させたらよいのか、紛争裁定委員会 vs 紛争解決委員会について—どちらを選んだらよいのか、などである。

法定代理人と FIDIC 特別顧問がこの会議で知見を披露してくれることになっている。登録および情報入手は以下の URL から。

<http://www.ibclegal.com/event/fidic-middle-east-contract-usersconference>



3-6 FIDIC Webinar Survey – Exploring YP Needs

若手専門家ニーズを知る、FIDIC のウェブ調査

FIDIC 若手専門家フォーラム (Young Professional Forum YPF) は、若手専門家への関連業界団体の経験と見識を提供することを目的とした意欲的なウェビナープログラムを始めた。このシリーズは、毎月関連ある分野の講演者を招聘し、そのスキルやノウハウを教授してもらうことを目的とし、続いて、聴衆との議論や質疑応答の機会を設けるような、現場主義的かつ実践的アプローチである。また、ウェビナーは、オンラインやスマートフォン、タブレットで視聴できる。iPhone、iPad、Android の「Gotomeeting」アプリをダウンロードされたい。

現在、2 つのウェビナーが開催されており、さらに 3 つが今まさに準備されている。LinkedIn YP group 経由で登録可能である。

W
E
L
C
O
M
E



3-7 Online Young Professionals Management Training Programme 2014

オンライン若手専門家管理トレーニング・プログラム 2014

コンサルティング・エンジニアリング会社を起業・発展させるためには、適切な国際経験と幅広い人脈を得ることが、昨今の重要な課題である。また、意欲のある若手専門家達を、必要なマネジメントスキルを身に着けた将来のリーダーとして認めていくことは、面白い取り組みといえる。

2014 年の FIDIC 若手専門家管理トレーニング・プログラム (YPMTP) では、こうした側面に焦点をあてる。

毎年開催されるこのプログラムは今年で 11 年目をむかえ、これらのオンラインプログラムに参加・修了した若手専門家は現在までに 400 人以上にのぼる。FIDIC にとって、これは大変誇らしいことである。

プログラムへの参加登録は下記ウェブサイトにて、12 月 30 日まで受け付けている。



<http://fidic.org/ypmtp2014>

3-8 FIDIC Online Training: Module 1 and Module 1 Advanced courses

FIDIC オンライントレーニングモジュール 1 とモジュール 1 上級コース

2 月からレッドブックとイエローブックのコースを開催し、2014 年も同様のコースが開催される予定である。オンラインコースでは、2 つの主要な FIDIC 契約の実用について広範囲に議論される。

登録は 2014 年 1 月 30 日までオンラインで受け付けている。

<http://fidic.org/events/fidic-conditions-contracts-2014-online-training-course-red-andyellow-book>

新しいモジュール 1 の上級コースは、初めてオンライン参加者に対し追加で提供される。このコースは 2014 年 3 月にスタートの予定である。

上級コースでは、アジュディケーター FIDIC 会長リストから選ばれた FIDIC 認定のアジュディケーター（紛争裁定人）を含む 2 人の専門家が講師となりケーススタディの紹介とアドバイスをする。契約に関するより詳細な知見を得ることができるであろう。登録は 2014 年 2 月 10 日までオンラインで受け付けている。

<http://fidic.org/events/fidic-2014-online-advanced-training-courseread-and-yellow-book>



4. News from Members 会員協会ニュース

4-1 French Technology Day Success

フランス Technology Day の成功

フランス協会 (Syntec) が主催した、Technology Day の一般公開に約 3,000 人が参加した。会議では、インテリジェント・ネットワークに着眼して、国際的な連携の機会、および戦略的連携から得られる便益に注目が集まった。パリ中から、1,800 人の学生が特別イベントに参加し、多くの学生がコンサルティング会社の代表者たちに会い、コンサル業界の内容やこれからの雇用機会に関して学ぶことができた。



4-2 Russia hosts Successful FIDIC Business Day

ロシア が FIDIC ビジネスデーを開催

モスクワで開催された 10 月 17 日の Business Day セミナーにおいて、特に FIDIC 契約を中心とした FIDIC 国際標準についてさらに学びたいと考える様々な受講者に高い関心を持たれていることが分かった。活気のある討論は、FIDIC 契約がロシア市場に受け入れられることを示していた。



4-3 Centenary UK Celebration

イギリス協会 100 周年を祝う

多くの会員協会のイベントに続いて、イギリスコンサルタント協会 (ACE) はロンドンで 100 周年記念大会を開催した。ガラパーティには、ヨーロッパの多くの CEO も参加した。Sir John Armitt 氏は、コンサルタント業界とロンドンオリンピック成功への価値ある貢献が認められた。

以上